

# 社会基盤整備の推進に関する要望

～「つながり はぐくみ 未来織りなす 彩り豊かなまち にしわき」を目指して～



令和3年5月に新庁舎・市民交流施設がオープンした西脇市中心市街地

令和3年10月

兵庫県西脇市

西脇市は、兵庫県のほぼ中央部、東経 135 度と北緯 35 度が交差する「日本のへそ」に位置し、加古川水系の豊かで良質な水流の恩恵を受け、200 年の歴史を誇る先染め織物「播州織」のまちとして、発展を遂げてきました。

昨今の産業構造の変化や高齢化の進展、人口減少等により、地域活力が失われつつある中、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり、地域特性を生かした産業の活性化と賑わいあふれるまちづくり、持続可能な地域づくりを推進することが一層重要になっています。

西脇市では、令和 3 年 5 月にオープンした、新庁舎及び市民交流施設を核として中心市街地の活性化、立地適正化計画に基づくコンパクトシティの形成を推進していますが、その実現のためには、国道 175 号東播丹波連絡道路、西脇道路（国道 427 号・都市計画道路西脇上戸田線）など、交流・連携を支える道路整備が不可欠です。

また、加古川・杉原川の氾濫等により繰り返し浸水被害を受けている本市では、浸水リスクの低減は、地域住民の安全・安心の確保に加え、商工業施設の新規立地や農業の振興、観光客の増加など地域活性化と地方創生に欠かせません。近年、全国各地で大規模自然災害が相次いでおります。平成 30 年 7 月豪雨では、西脇市に初めて大雨特別警報が発令され、平成 16 年台風第 23 号をはるかに上回る降雨となりましたが、河川改修等が実施された地区では被害の縮小が図られ、あらためて河川整備や土砂災害対策の効果と重要性を実感したところです。一方で、市内では浸水被害等が未だ発生しております。

現在、「防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策」（R 3～R 7）等により、重要インフラ等の機能維持の取組を目に見える形で進めていただいておりますが、安全・安心で賑わいあふれるまちづくり、持続可能な地域づくりの実現のためには、この対策の計画的な実施と、社会基盤の更なる整備推進が不可欠です。

つきましては、当市の実情を御賢察いただきまして、以下の点について、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 1 社会基盤整備の充実に必要な予算総額の確保

対応が急がれる南海トラフ地震や頻発する風水害への対策、老朽化対策等、喫緊の課題に着実かつ計画的に取り込むことができる予算を確保すること。

特に、コロナ禍により、大きな打撃を受けた地域経済を早急に回復させるためには、総需要の増強が重要であり、補正予算の編成など公共投資の規模を拡大すること。

## 2 防災・減災、国土強靱化の推進に必要な予算・財源の確保

近年大型化する台風等の自然災害の頻発化・激甚化を踏まえ、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を着実かつ計画的に推進するため、通常予算とは別枠で、必要な予算・財源を確保すること。

## 3 社会基盤施設老朽化対策の推進

予防保全を含む老朽化対策に必要な予算を確保すること。特に多額の費用を要する下水道施設等の機械設備について必要な予算を確保すること。

また、施設の定期点検や修繕・更新計画策定、小規模な修繕・更新工事にも充当できるよう交付金制度を拡充すること。

さらに、「公共施設等適正管理推進事業債」において、交付税措置率の引き上げや、制度の恒久化など、制度を拡充すること。

## 4 道路整備の推進

- (1) 国道175号東播丹波連絡道路の整備促進 [国事業]
- (2) 西脇道路（国道427号・都市計画道路西脇上戸田線）の整備促進 [県事業]
- (3) 国道427号歩道リニューアルの整備促進 [県事業]
- (4) 県道西脇三田線の整備促進 [県事業]
- (5) 西田第一歩道橋等の補修 [市事業]

## 5 治水・土砂災害対策の推進

- (1) 加古川 河床掘削（津万～福地地区）の促進 [県事業]
- (2) 杉原川 沖田井堰・和田井堰の改修促進(大規模特定河川事業) [県事業]
- (3) 加古川・杉原川・野間川 堆積土砂撤去・立木伐採の促進 [県事業]
- (4) 土石流・急傾斜地崩壊対策の促進 [県事業]

## 6 下水道事業等の推進

下水道施設・都市公園施設等の計画的な長寿命化対策の必要な予算確保  
[県・市事業]

## 7 災害復旧に係る体制強化

広域的な大規模災害において、迅速かつ円滑な復旧等に資する、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や国による権限代行等が速やかに実施できる体制・機能の拡充・強化

令和3年10月22日

西脇市長 片山象三